

今年度の努力目標

『つなげよう学びのバトン ～子どもたちの姿から学びを捉える～』

子どもたちは、日々の生活の中で、様々なものやこと、人との出会いの中で、心を揺らし興味をもって関わる中で、小学校以降の学習の土台となる（生涯を通して必要な）学びをたくさんしています。

幼児期の終わりまでに育ってほしい姿として、遊びや生活の中で一体的に育む10の姿があります。この10の姿を手掛かりに、学びのつながりを努力目標とし研究を進めています。



グローバル化や人口知能・AIなどの技術革新が急速に進み、予測困難なこれからの時代を生き抜くために、新しく改訂された教育要領（指導要領）では、幼・小・中・高の各段階を通じて、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力など」「学びに向かう力、人間性など」の3つの柱からなる「資質・能力」を総合的にバランスよく育てていくことが目指されるようになりました。

自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、自ら判断して行動し、よりよい社会や人生を切り開いていく力“**生きる力**”が大切になってくるんですね！



【3歳児】

協同性

いっぱい！

ひとつずつ！

（魚の目の部分に一つずつ梅の実を乗せてせて一対一対応）

3人家族だから
3つください！

自立心

高く！高く！

【4歳児】

大きさ比べてみよう！

豊かな感性
と表現

数量や図形、
標識や文字など
への関心・感覚

【5歳児】

思考力の
芽生え

並べてみたら
いいんじゃない？

いくつか教えてみよう！

おなじ
かずずつ

さんすう

1+2=
3+2=

大きさ
くらべ

せいかつ

せいかつ

10より
大きいかず

100まで
のかず

なつとなかよし

【1年生以降の各教科】

幼稚園で心動かされる体験を通して、子ども自身が必要感を感じて、数量や図形・文字などに触れ、関心・感覚が育まれることが、小学校以降の教科等の学習につながっていきます。